

# 事務局代表者NEWS

## 「熊本県の先進事例研究」 ～令和元年度現地訪問研究会～

広島県中小企業団体事務局代表者協議会(会長 堀岡芳郎)は、7月10・11日の2日間、「先進事例研究」として、本年度は熊本の鉄構工業組合とその理事長企業について現地訪問を実施した。

### 協同組合熊本県鉄構工業会 ～団結し継続する組合事業～

当組合は、熊本県内の鉄骨加工業者24社が集まる「鉄のプロフェッショナル集団」として様々な活動を行っており、全国の先進事例集にも掲載されている。



組合事業説明(永井理事長・城戸事務局長)

訪問して最初に感心したのは、事務局を含めて組合員企業との結びつきが強く、一体感を出していることである。組合員とはいえ他社のために、相互扶助により事業が実施されている。この協力意識の強さが、組合の各事業の推進エネルギーになっていると感じられた。

組合員各社は、5年更新の鉄骨関連の認定を取得しているが、5年の期間は長いので、2年半の時期に組合独自の中間検査を実施して、更新に備える体制を構築している。

また、熊本県内各地に散らばっている組合員企業24社の工場全てに対して、組合役員及び事務局が自主点検のパトロールを、30年以上継続して実施している他、建築鉄骨などに関する法改正、新技術、品質管理などについて、国、県、技術センターなどと連携した勉強会を、2月に1回は実施して、累計が200回を越えているなど、長期の事業が多いとのこと。

HPコンテンツも、組合員各社の「新人教育・従業員研修用の教材」及び「営業ツール」として重宝されているなど、組合員企業に貢献する多彩な取り組みについて学ぶことができた。

### 株式会社永井製作所

#### ～建築鉄骨業界の成長と熊本の復興に貢献～

最先端の工場設備と卓越した技術者集団を抱える株式会社永井製作所(協同組合熊本県鉄構工業会の理事長企業)を訪問。



八代工場の製作工程を見学

現在は宇城市と八代市の2工場で建築用鉄骨の設計・製作・施工を行っており、九州を中心に大型建築物の鉄骨を製作している。鉄骨工場は製作能力や工場設備、技術者や技能者の人数に応じてランク付けされるが、当社は平成29年2月に国土交通省性能評価基準の最上位「Sグレード」の認定を受けている。グレードによって手がけることのできる建築物の規模、使用できる鋼材も変わることとなるが、「Sグレード」の認定を受けた企業では、あらゆる案件に対応することができ、また、設計事務所やゼネコンから指示を受けるだけでなく、自らが考案してさらに質の高い提案ができるのが大きな強みであるとのこと。

当社は、コーポレートスローガンに「真面目に鉄骨」を掲げ、プロフェッショナル集団として、「他社にはできないもの」を造り、「量」よりも「質」にこだわり鉄骨製作をしている。そのため、研究開発には力を入れており、熊本県内外の大学と共同研究を行い、革新的な技術や耐震性を強化した製品を開発し、熊本城天守閣復旧整備工事をはじめとした熊本の復興、建築鉄骨業界の成長に貢献している。こうした技術の向上には、組合の実施する勉強会が大いに役立っているとのことであった。

最高ランクの「Sグレード」認定を受けられながらも、これに甘んじることなく、最高品質の製品を提供するため、さらなる「質」にこだわり挑戦を続けられている姿に感銘した。